

オリンパスは創立 100 周年を迎えます

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、本年10月12日に創立100周年を迎えます。

創立から100年にわたり当社の発展を支えてくださったお客さまをはじめ、ステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。これからも世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を通して、社会に貢献してまいります。

オリンパスの前身である株式会社 高千穂製作所は、1919年に顕微鏡の国産化を目指して設立されました。「海外の模倣ではいけない。なにか独自のものを」という創業者・山下 長(やました たけし)の思いから、その翌年には当社初の製品となる顕微鏡「旭号」が世に出されました。その後、顕微鏡で培った光学技術やスペシャリストのニーズに寄り添う姿勢は、オリンパスのカメラ初号機である「セミオリンパスI型」や内視鏡の前身であるガストロカメラの製品化という革新を生み出し、現在のオリンパスへとつながっています。

当社は、これまでの歩みを通して数多くの「世界初」を世に送り出し、医療・科学・映像の分野において社会に価値をもたらす革新的な製品やサービスを提供してきました。創立100周年にあたって、従業員一人ひとりがこれまでの歩みを振り返るとともに、常に未来を見据えた革新的企業となるべく、私たちの存在意義である「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」を全うし前進を続けてまいります。

「さらなる飛躍に向けて努力を続けていく」という意思を込めて、100周年ロゴを制作しました。100周年を迎えるにあたり、全従業員がグローバルで思いを一つにしながら、さまざまな活動に取り組み、社会に貢献してまいります。

